

# コミュニティ・スクールだより



氷川町(組合)  
コミュニティ・スクール  
連携協議会事務局  
令和2年2月第10号発行

## 高い所めざして保育園児が竜北中学校へ避難！

1月31日、竜北中学生と月乃輪保育園の園児、約250名が、「震度6の地震による6メートル以上の津波が発生」という想定で合同避難訓練を実施しました。保育園児が到着すると、生徒会執行部のメンバーが優しく園児たちを出迎え、3階の音楽室まで誘導。園児は、竜北中学校の学校運営協議会の伊藤会長を先頭に、防災頭巾一つを身につけ、竜北中学校までの2キロの道のりを歩いて往復しました。黙々と歩く姿が頼もしく感じられました。

実際あっては困るものの、万が一に備え、どう避難するかを学ぶ良い機会になりました。中学生にとっても、いつもの避難訓練とは一味違い、避難するだけでなく、自分に何ができるかを考える機会になったようです。



## 笑って、笑って、笑って元気に！そして、元気のおすそわけ

2月12日、氷川町小中学校(組合)学校運営協議会委員全体研修会を行いました。宮司であり、おおいた観光特使も兼任されている矢野大和氏にご講演頂きました。終始、軽快なお話に皆さん笑い声が絶えず、あっという間に時間が過ぎて行きました。

ご自分の体験談や地域のお年寄りと子どもが関わるエピソードから、コミュニケーションの大切さ・挨拶から広がる良好な信頼関係など、素敵なお話が聞けました。中でも、「家族がエネルギーの源」であり、人は外で頑張り、家に帰って充電する。だから、家庭がいかに大切であるか。また、人は何か一つ得意なものを持てば人に必要とされ、生き甲斐に繋がる。「人は必要とされることによって生かされる」など、笑いの中に大事なことを諭されました。

今回、学校運営協議会委員の全体研修会としてご講演いただきましたが、地域の中で元気を与え与えられる、人と人との繋がりによる「おかげさまの関係」作りのヒントがたくさんありました。

研修会終了後には、各学校の校長先生とCS会長さんが一堂に会して、今後の学校運営協議会について改めて考える機会を作っていただきました。次年度に向け、更に学校運営協議会の役割の重要性を共通認識する機会となりました。

地域の応援に感謝！

農の花「スイートピー」は、下鹿島婦人会を中心に活動されているグループです。いろいろな催し物の時に季節の花や野菜を飾り、彩を添えられています。講演会でも会場中を色とりどりに飾りつけられ、講師の矢野先生にもおもてなしを喜んで頂きました。



会場を彩る季節の花や野菜

